



培養細胞に関する実験の様子

動物を用いた実験では、実験動物の飼育環境はもちろん、ヒトのトレーニングに見立てた走行トレニングを実施させる動物用トレッドミルや回転ゲージ、また低酸素環境を模擬できるような簡易テントも備わっています。培養細胞を用いた

今号ではスポーツ健康科学のスポーツ生化学・分子生物学分野に関係する実験機器をご紹介します。本研究分野においては、実験動物や培養細胞を用いて健康や競技パフォーマンスに関する筋肉や脂肪、脳などの組織に運動がどのような効果を、どのようにしてもたらすのかに関してタンパク質、

遺伝子レベルで検証しています。身体の機能は基本的にはタンパク質で担われており、運動によってどのようなタンパク質が働き、結果としてどのようなタンパク質が増加したのかを調べることで実施した運動プログラムの効果やメカニズムを明らかにすることができます。また、遺伝子レベルでの測定

最先端の実験機器紹介

高倉久志先生



ChemiDoc イメージングシステム

実験では、研究の対象組織の細胞だけをDishと呼ばれるお皿の中で培養し、運動を模した物理的もしくは薬理的刺激を加えて、反応を検証することによって、生体で生じる運動効果やそのメカニズムを明らかにすることができます。

このような実験から取得した試料(サンプル)を用いて、タンパク質発現や遺伝子発現を測定していきます。タンパク質に関する測定にはウェスタンブロット法という実験手法を用います。これは組織の中に存在する数多くのタンパク質から抗原抗体反応を用いて特定のタンパク質を検出する手法です。この実験手法の最終手順となるタンパク質の検出時に、写真に示したようなChemidocイメ



リアルタイムPCRシステム

ージングシステムを用います。これによって、運動やトレーニングによる標的タンパク質発現量の増減、もしくは活性化状態などの検出が可能となります。また、遺伝子(mRNA)に関する測定にはリアルタイムPCRシステムを用います。このシステムはPCRポリメラーゼ増幅反応)による増幅量をリアルタイムでモニターすることができます。これによって、組織内に存在する遺伝子(mRNA)量が運動やトレーニングによって変化したのかなどを測定することができます。

これらの研究環境や研究機器は「スポーツ健康科学応用演習」「卒業研究」[「演習」などで積極的に活用されています。

成績通知書の確認方法

同封しています成績通知書の確認方法についてお知らせいたします。2017年度以前生と2018年度以降生ではカリキュラムが異なります。学年によって一部表記が異なりますが、2020年度生を例に説明いたします。

履修年度	期間	科目名(クラス)	単位	成績	担当者名	履修年度	期間	科目名(クラス)	単位	成績	担当者名
		必修科目(26単位)						選択科目F群(30単位以上)			
2020	春学期	スポーツ健康科学論入門	2	A		2021	春学期	心理学1	2	A	
2020	秋学期	スポーツ生理学	2	D		2021	秋学期	心理学2	2		
2021	春学期	基礎実習	2	B		2020	春学期	スポーツ・パフォーマンス1-115	1	A	
2020	春学期	ファースト・イヤー・セミナー	2	A		2020	秋学期	スポーツ・パフォーマンス1-611	1	A	
2020	春学期	スポーツ社会学	2	B							
2020	春学期	生理学	2	F							
		選択科目A~E群(48単位以上)									
		《選択科目A群(6単位以上)》									
2020	秋学期	スポーツ政策論	2	A		2020	春学期	コミュニケーション・イングリッシュ1-422	1	C	
2021	春学期	スポーツ運動学	2	A		2020	秋学期	コミュニケーション・イングリッシュ2-322	1	B	
2021	春学期	トレーニング論	2	C		2020	春学期	アナリティカル・リーディング1-265	1	A	
2020	秋学期	健康運動論	2	B		2020	秋学期	アナリティカル・リーディング1-265	1	B	
****	秋学期	スポーツ教育学	2			2021	春学期	イングリッシュ・セミナー1-546	1	C	
		《選択科目B群(22単位以上)》				****	秋学期	イングリッシュ・セミナー2-320	1		
****	秋学期	スポーツ医学A(内科系)	2			2021	春学期	イングリッシュ・ワークショップ1-354	1	C	
2021	春学期	スポーツ医学B(外科系)	2	B		****	秋学期	イングリッシュ・ワークショップ2-503	1		
2021	秋学期	生活習慣病概論	2	中止							
2021	春学期	発育発達と老化	2	B							
****	秋学期	スポーツ栄養学	2								
		《選択科目D群》									
XX20	春学期	スポーツ健康科学のための自然科学入門	2	F							
2021	春学期	スポーツ健康科学のための自然科学入門	2	C							
2021	春学期	生物学	2	F							

参考
2021年度春学期終了時点での各学年の修得単位ならびにGPAの平均値
1年次生： 20.4単位 GPA 2.80
2年次生： 59.4単位 GPA 2.67
3年次生： 95.3単位 GPA 2.64
4年次生： 117.8単位 GPA 2.60

同志社大学 成績通知書

所属：スポーツ健康科学部 スポーツ健康科学科

学籍番号：2020年度生(2年次) 999番

氏名： 同 志 社 大 部
生年月日：20XX年(平成XX年)5月1日生 性別：男

学生ID：1115-20-0XXX

学籍に関する事項					
本人住所	〒				
父母氏名	〒				
父母住所	〒				
異動に関する事項					
異動種別	異動年月日	異動事由			
入学	2020年4月1日				
学業に関する事項					
単位修得表					
種別	卒業必要単位数	修得数	種別	卒業必要単位数	修得数
必修 基礎科目	12	5	10	選択D群	1
必修 演習科目	14			選択E群	11
卒業研究A-B	6			選択F群	14
				教養関連	3
選択科目計	98以上	28	44	英語	6
選択A~E	48以上	17	30	英語以外	4
選択A群	6以上	4	8		
選択B群	22以上	8	16	合計	33
選択C群	6以上	4	4	自由科目	8
C群I類	4以上	4	4	免許・資格関係科目	
				必・選A~E	40単位
				直近学期GPA	2.71
				累積GPA	2.98

- 1 (評価判定基準)
A：4.0 (特に優れた成績を示した)
B：3.0 (優れた成績を示した)
C：2.0 (妥当と認められる成績を示した)
D：1.0 (合格と認められる最低限度の成績を示した)
F：0.0 (合格と認められるに足る成績を示さなかった)
- 2 それぞれの科目を履修した年度です。
- 3 現在登録中の科目です。(成績評価欄は空欄になっています)
- 4 1ヶ月程度授業を受講し、望ましい評価が得られないと本人が判断して、履修を中止した科目です。この場合GPAには算入されません。
- 5 合格評価で書き換えられた不合格評価であることを示します。F評価を取得した科目で、再履修し、D以上の評価を得ることができれば、最初のF評価はGPAに算入されません。
- 6 単位修得表内の必修科目欄(表左上部の3項目)について、「卒業研究A・B」については修得状況を独立して記載するとともに、「必修演習科目」にも含めて記載します。(2017年度以前生については、必修基礎科目として修得した単位の中にスポーツ・パフォーマンス1の単位も含めて記載しています。)
- 7 選択科目B群で卒業に必要な22単位のうち、16単位を取得している。
- 8 在学期間中に修得した単位数を示します。卒業に必要な124単位のうち、54単位を取得している。
- 9 在学期間中に修得したGPAを示します。
- 10 本人住所の変更は、学生がDUETを通じて行うことができます。
- 11 父母住所の変更は、学生が学務事務室の窓口に届け出てください。

*上記の成績通知書はこの誌面用に作成したものです。実際のものとはサイズ等異なります。

2021教員父母連絡会 総会レポート



コロナ禍対応に追われた 2020年度を報告

5月29日(土)、2021年度教員父母連絡会総会が開催されました。新型コロナウイルス感染症拡大によって昨年5月の総会は中止となったため(代わって臨時役員会にて審議・決定)、2年ぶりの開催となり、感染拡大防止の観点からZoomによるオンライン形式での実施となりました。

13時30分に始まった総会では、高橋美津子会長の挨拶に続き、竹田正樹学部長がコロナ禍における授業について、大学・学部への対応を説明。対面授業が最善であるとしつつ、オンライン授業やオンデマンド授業の長所についても言及しました。特に遠征で欠席する学生が多い本学部の特質上、遠征の空き時間に視聴できるオンデマンド形式はメリットが大きく、今後の活用可能性を残したという見解が示されました。

昨年の春学期は実技の授業もすべてオンラインで行われました。竹田学部長によると、オンライン授業は技術理論やスポーツの文化・社会的背景などの深い知識の提供に寄与できた一方



竹田正樹 学部長 (2021年度副会長、教授)

で、学生の実際のパフォーマンス向上には不向きであったことが判明。スポーツ健康科学は身体と脳との双方向性が非常に重要な学問分野であることを再認識し、今後の授業計画に活かしたいという分析が行われました。コロナ禍で大きな変更あるいは挑戦を強いられた昨年度ではありましたが、今後も学生たちのより充実した学びのために教職員が一丸となり、全力でサポートしていくことを誓って挨拶が終了しました。

その後は議長選出、2020年度事業報告に続いて議事に移り、2020



高橋美津子 前会長 (2020年度会長)

個性を尊重し、自立的・自律的な学生を育てる教育に取り組んでいることを話し、ご父母の皆様からのご協力を仰ぎました。

学生主任の庄子博人准教授からは、スポーツ健康科学部の学生支援についての案内がありました。最初に本学部の学生数、出身地別の学生数、下宿状況などを報告。学校情報ポータルサイト「みんなの大学情報」における学部別の口コミランキングで、私立大学の1717学部中、本学部は43位であることも紹介されました(2021年5月調べ)。特に「研究室・ゼミ」「施設・設備」「講義・授業」「友人・恋愛」などの項目が高評価を得ているという指摘がありました。

本年度のスケジュールと本学部が選考する奨学金制度および緊急対応奨学金の案内後は、2020年度卒業生の就職状況が報告されました。それによ



庄子博人 准教授 (2021年度会計)

ると本学部では、就職希望者の就職率は98・3%、大学院修士生の就職率は100%。これに対して全学部を通じての就職率は97・4%で、本学部の就職率の高さが明らかになりました。正規雇用された卒業生の業種別就職先は、メーカー30%、教育・学習支援19%、サービス16%。流通、金融などにも多くが進み、国家公務員になった卒業生もいました。従業員規模別で見ると、従業員1000人以上の大企業が最も多く32%、100人以上の中企業が20%、5000人以上の巨大企業が18%となっており、多くの学生が大企業に就職したことが伝えられました。大学による多様な就職支援プログラムも紹介されました。

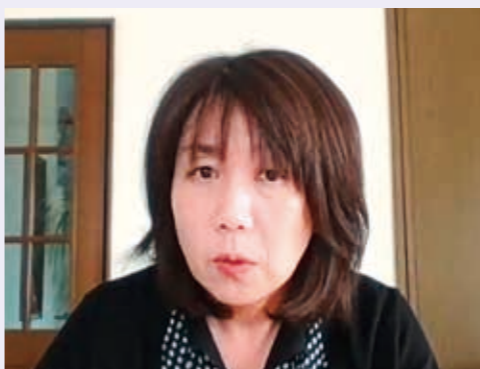
就職活動講座で最新情報を紹介

最後は株式会社マイナビの鶴見耕太

年度決算および監事報告、2021年度事業計画、同予算、同役員が審議され、原案通り承認されました。事業報告では、新型コロナウイルス感染症の流行による対面式行事の中止、経済的な影響を受けた学生を対象とした教員父母連絡会緊急対応奨学金の創設などを報告(※詳細は17頁をご参照ください)。総会終了後は、本学部に在籍する25名のうち21名の教員による自己紹介が行われました。

学部カリキュラムの特色、資格取得、学生支援、就職状況

続いて教務主任の田附俊一教授より「スポーツ健康科学部で学ぶこと」と題して、カリキュラムの特色、卒業要件、取得可能な資格、キャンパスハラスメント相談員制度、京田辺校地のラーニングコモンズなどの説明がありました。



森本理恵 会長 (2021年度新会長)

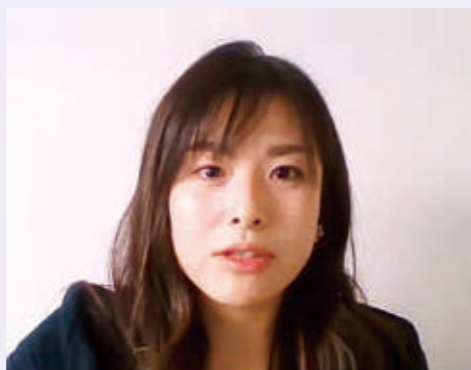
た。カリキュラムについては、本学部で扱うのは文理融合型の応用総合科学であるため、自由度の高い履修システムを採用しており、健康科学・トレーニング科学・スポーツマネジメントという3つの学修領域を提示していることを紹介。少人数制教育のきめ細やかさ、ファースト・イヤー・セミナーの利点、ソーシャルディスタンスを確保した教室使用などの感染防止対策、心理学部など他学部のカリキュラムが履修可能である点についても説明がありました。

教員免許については、高等学校・中学校教諭一種免許(保健体育)や、神戸親和女子大学との連携による小学校教諭免許状(二種)の取得制度を案内。日本スポーツ協会の公認スポーツ指導者、健康・体力づくり事業財団の健康運動指導士、日本障がい者スポーツ協会の公認障がい者スポーツ指導者の資格を取得できることも案内されました。キャンパスハラスメント相談員制度については、学生から相談員に相談があれば大学のキャンパスハラスメント防止に関する委員会に報告され、相談者と面接などを行いながら事実確認をし、結果を学長に報告して必要な措置を取る仕組みが説明されました。最後に「同志社大学の学び」と題し、創立者・新島襄の言葉を引用。「個儻不羈」(才気が優れ、独立心が旺盛で、常軌では律しがたいこと)などの言葉を紹介しながら、本学では学生の可能性と

朗様より、ご父母向けの就活講座が行われました。まず2023年卒業予定者の今後のスケジュールについて、本年12月までに企業説明会に参加し、2022年2月までにインターンシップに参加、自己分析、仕事研究などを進めておくという一般的な流れが示されました。昨今はインターンシップで企業との繋がりを作り、働く立場として自己分析を行いながら企業とのマッチングを考える動きが定着しており、参加率は年々高まっていることを紹介。企業側は3年生の参加を中心に考えているが、1・2年生で参加しておくこと、その後の企業独自の説明会やセミナーなどの告知が受けられるメリットもあるという助言も行われました。

コロナウイルス感染症拡大による大きな変化は、売り手市場から買い手市場になったこと。厳選採用が進み、採用人数は減少。インターンシップである程度採用者の見込みをつけ、短期間でコンパクトな採用活動を行う企業が増加したという就活環境が語られました。また、就職活動のオンライン化についてとも言及。ウェブ面接では安定した通信環境の整備をしておく、オンラインでもスーツ着用が推奨されるなどの注意点が示されました。

最後にご父母の皆様に求めたい支援として、応募書類の代筆やご父母による大学・企業への連絡などはNGであること、学生にとって就活とは社会人になるための準備でもあるので、ご父



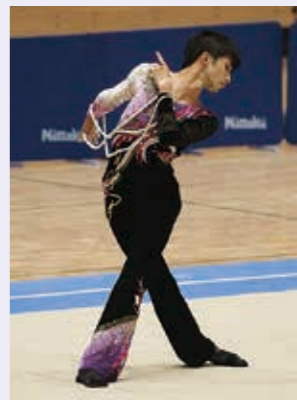
遠藤華英 助教 (2021年度教員役員)

母の過剰な介入は控えていただきたいことなどの要望が添えられました。ご父母の皆様には、保護者としてだけでなく社会人目線でのアドバイスを息子・ご子女にお送りいただき、また安心して帰ってこられる居場所づくりをしていただきたいという呼びかけで講座は締めくくられました。

今回は初のZoomによる総会でしたが、遠方からのご参加が容易になり、約65組のご父母にご参加いただけて盛会となりました。1名ずつが画面から語りかける形式は発言内容が明確に伝わり、場面転換もテンポよく行えるという、オンラインのメリットも感じられました。次回はまた京田辺校地で開催できることを祈念しながら、ご父母の皆様のご協力によって総会が無事に終わりましたことを感謝申しあげます。ありがとうございました。

スポーツ健康科学部生の活躍

- 〔体操競技部〕
- ◎第72回全日本学生新体操選手権大会
個人総合2位・堀孝輔(2017年度生)
- ◎第73回全日本新体操選手権
個人総合2位・堀孝輔



- 〔トライアスロン部〕
- ◎日本学生スプリントトライアスロン選手権
女子T-Tの部(選手権の部)優勝・長島美桜(2019年度生)
- 〔アーチェリー部女子〕
- ◎第29回全日本室内アーチェリー選手権大会
2位・上原瑠果(2020年度生)
- ◎第55回全日本学生アーチェリー女子王座決定戦 団体1位・上原瑠果
- 〔居合道部〕
- ◎第31回西日本学生居合道選手権大会 選手権の部3位・元家涼歌(2017年度生)
- 〔ソフトテニス部〕
- ◎ミスノ・オープンソフトテニス2020
準優勝・上岡俊介(2018年度生)
- ◎JAPAN GPP2020
準優勝・上岡俊介
- 〔射撃部〕
- ◎第31回西日本学生スポーツ射撃選手権大会
10mエアライフル男子立射60発競技
個人優勝・深澤駿(2020年度生) / 10mエアライフル男子立射60発競技 団体優勝・深澤駿 / 男子総合 団体2位・深澤駿

- ◎第28回西日本女子学生スポーツ射撃選手権大会 10mエアライフル女子立射60発競技 個人優勝・目羅渚(2019年度生)
- ◎令和2年度西日本学生エアピストル射撃競技大会 10mエアピストル女子立射60発競技個人3位・目羅渚
- ◎第28回西日本学生スポーツ射撃選手権大会 10mエアライフル女子立射60発競技 団体優勝・目羅渚
- ◎第67回秋季全関西学生ライフル射撃選手権大会 10mエアライフル男子立射60発競技 団体優勝・深澤駿
- ◎第26回秋季全関西学生ライフル射撃選手権大会 10mエアライフル女子立射60発競技 団体優勝・目羅渚
- ◎2020年度全日本学生スポーツ射撃選手権大会第67回男子総合
10mエアライフル男子立射60発競技個人優勝・深澤駿 / 10mエアライフル男子立射60発競技 団体優勝・深澤駿 / 10mエアピストル男子立射60発競技個人3位・佐竹優悟(2020年度生)
- ◎2020年度全日本学生スポーツ射撃選手権大会第33回女子総合
10mエアライフル女子立射60発競技個人優勝・目羅渚
- 〔フィギュアスケート部〕
- ◎第92回日本学生氷上選手権大会
個人総合優勝・男子団体6位・友野一希(2017年度生)
- ◎2020年四大陸フィギュアスケート選手権 個人総合7位・友野一希
- ◎第19回関西学生フィギュアスケート選手権 個人総合優勝・友野一希
- ◎第46回西日本フィギュアスケート選手権大会 個人総合2位・友野一希
- ◎第69回関西学生氷上選手権大会
個人総合優勝・友野一希
- ◎2020NHK杯国際フィギュアスケート競技大会 個人総合2位・友野一希
- ◎第89回全日本フィギュアスケート選手権大会

- ◎個人総合6位・友野一希
- 〔カヌー部〕
- ◎第56回全日本学生カヌー選手権大会
WK・1 Relay 準優勝・埋金楓(2017年度生)、吉見優華(2017年度生) / WK・4 500m 3位・埋金楓、吉見優華、佐藤友香 / C・4 1000m 4位・太田向柁(2017年度生)、伊藤真大(2019年度生) / K・2 200m 4位・木村大翔(2017年度生) / WK・1 200m 準優勝・埋金楓 / WK・2 200m 4位・吉見優華 / WK・1 500m 優勝・佐藤友香 / K・2 200m 4位・鈴木海渡(2018年度生)
- 〔陸上競技部〕
- ◎天皇賜盃第89回日本学生陸上競技対校選手権大会 All Japan Inter University Track & Field Championships
男子400m H 5位入賞・畑浦佑亮(2017年度生)
- ◎第104回日本陸上競技選手権大会兼東京2020オリンピック
競技大会日本代表選手
選考競技会
男子400m H 7位入賞・畑浦佑亮
- ◎第97回関西学生陸上競技対校選手権大会
男子400m H 優勝・畑浦佑亮
- ◎JOCジュニアオリンピックカップ全国高等学校陸上競技大会2020兼U20全国陸上競技大会
男子1100m H 5位入賞・岩堀剛己(2020年度生)



- 〔馬術部〕
- ◎第70回全日本学生賞典障害馬術大会
団体3位入賞・高橋勇人(2017年度生)、武道美紀(2019年度生)
- 〔ヨット部〕
- ◎全日本学生個人ヨット選手権大会
470級優勝・三浦匠(2018年度生)
- 〔レスリング部〕
- ◎2020年度西日本学生選手権
男子フリースタイル70キロ級優勝・佐長拓末(2019年度生)
- 〔ボート部〕
- ◎西日本選手権 女子舵手なしクオドルプル優勝・石川裕希乃(2018年度生)
- 〔自転車競技部〕
- ◎2020全日本学生トラック自転車競技大会 500mタイムトライアル優勝・松井優佳(2018年度生) / 女子スプリント優勝・松井優佳
- ◎2020全日本大学自転車競技大会
〔フェンシング部〕
- ◎令和2年度関西学生フェンシング交流試合
男子フルール団体優勝・吉田樹生(2019年度生)、宮川恒(2019年度生) / 男子エヘ団体優勝・宮川恒、古橋諒樹(2020年度生) / 女子サーブル団体優勝・白峰杏香(2017年度生)、植村咲香(2018年度生)
- 〔水泳部〕
- ◎2020年度関西学生秋季水泳競技大会 AUTUMN CHALLENGE
男子400mメドレーリレー3位・河内晟(2019年度生)
- ◎第96回日本学生選手権水泳競技大会
女子200mバタフライ準優勝・林希菜(2020年度生)
- 〔テニス部〕
- ◎2021年度(7月までの戦績を抜粋)

- ント 女子ダブルス優勝・伊藤日和(2018年度生)
- 〔ラグビー部〕
- ◎サンコーインダストリー presents 2021 関西セブンズフェスティバル
優勝・山口龍慶(2018年度生)
- ◎関西大学ラグビー春季トーナメント
優勝・南光希(2018年度生)、田村魁世(2018年度生)、木原音弥(2018年度生)、西口聖一郎(2018年度生)、馬渡仁之祐(2019年度生)、鈴木康生(2019年度生)、嘉納一千(2020年度生)



- 〔アーチェリー部女子〕
- ◎第30回全日本室内アーチェリー選手権大会
優勝・上原瑠果
- ◎第56回全日本学生アーチェリー女子王座決定戦 3位・上原瑠果
- 〔ソフトテニス部〕
- ◎第5回全日本男子選抜ソフトテニス大会
優勝・上岡俊介
- ◎ミスノ・オープンソフトテニス2021
優勝・上岡俊介
- ◎2021年度全日本ミックスダブルス選手権大会 一般の部3位・上岡俊介
- ◎第75回西日本ソフトテニス選手権大会
一般男子3位・上岡俊介

- 〔カヌー部〕
- ◎2021カヌースプリントジュニア・U23海外派遣選手最終選考会
WK・1 500m 1位・佐藤友香、6位・渡辺愛生(2021年度生) / WK・2 500m 1位・佐藤友香、中嶋美友(2019年度生)
- ◎第76回国民体育大会近畿ブロック大会
WK・1 500m 3位・中嶋美友
- ◎令和3年度国民体育大会東北ブロック大会
WK・1 500m 1位・佐藤友香、3位・渡辺愛生
- ◎第42回北信越国民体育大会 C・1 500m 1位・平井兵馬(2019年度生)
- 〔射撃部〕
- ◎第46回全関西学生ライフル射撃新人戦
10mエアライフル男子立射60発競技個人優勝・深澤駿
- ◎第10回秋季全関西学生デジタルスポーツピストル射撃記録会
10mピストルデジタル男子女子立射60発競技 団体優勝・佐竹優悟、深澤駿
- ◎第67回春季全関西学生ライフル射撃選手権大会 10mエアライフル男子立射60発競技 団体優勝・深澤駿
- ◎第26回春季全関西学生ライフル射撃選手権大会 女子総合団体優勝・目羅渚 / 10mエアライフル女子立射60発競技 団体優勝・目羅渚
- 〔卓球部女子〕
- ◎第90回全日本大学総合卓球選手権大会
団体の部7位入賞・野上つばみ(2021年度生)、本井明梨(2021年度生)
- 〔陸上競技部〕
- ◎2021日本学生陸上競技個人選手権大会
男子800m 5位入賞・橋本将弥(2018年度生)
- 〔空手道部〕
- ◎第54回関西学生空手道個人選手権大会
形競技 女子の部優勝・大内美里沙(2020年度生) / 形競技 男子の部優勝・笹岡丈

- 〔ボート部〕
- ◎第6回西日本選手権大会
男子エイト優勝・内山碧(2019年度生) / 男子舵手なしクオドルプル優勝・遠藤寛昌(2019年度生) / 男子ダブルスカル優勝・藤本貴也(2019年度生) / 女子ダブルスカル優勝・石川裕希乃、3位入賞・谷本美伊菜(2019年度生)
- ◎2021年度関西選手権競漕大会
男子エイト優勝・内山碧 / 男子舵手なしクオドルプル準優勝・藤本貴也 / 女子舵手なしクオドルプル優勝・石川裕希乃
- 〔自転車競技部〕
- ◎全日本学生RCS第2戦・第15回白馬クリテリウムラウンド
クラス3 ロードレース3位入賞・西岡利起(2019年度生)



- 〔フェンシング部〕
- ◎令和3年度関西学生フェンシングリーグ戦
男子フルール団体優勝・吉田樹生 / 男子サーブル団体優勝・成田武永(2019年度生) / 女子サーブル団体3位・植村咲香
- 〔水泳部〕
- ◎第9回関西学生チャンピオンシップ水泳競技大会
男子100m自由形準優勝・武田弥己(2018年度生) / 男子100m自由形3位・尾脇璃音(2019年度生) / 女子100mバタフライ優勝・國友美緒(2019年度生) / 女子200m個人メドレー優勝・國友美緒 / 男子1500m自由形準優勝・寺島俊結(2020年度生) / 女子200mバタフライ優勝・林希菜
- ◎第95回関西学生選手権水泳競技大会第57回関西女子学生選手権水泳競技大会兼第97回日本学生選手権水泳競技大会関西支部予選会
女子50m自由形優勝・國友美緒 / 女子200m個人メドレー準優勝・國友美緒 / 女子400m自由形優勝・山本美杏(2019年度生) / 女子800m自由形優勝・山本美杏 / 女子1000mバタフライ優勝・林希菜 / 女子200mバタフライ優勝・林希菜 / 女子100m背泳ぎ優勝・渡会円香(2021年度生) / 女子200m背泳ぎ準優勝・渡会円香 / 男子400mフリーリレー優勝・尾脇璃音 / 女子400mフリーリレー優勝・渡会円香、國友美緒、林希菜、山本美杏 / 男子800mフリーリレー3位・武田弥己、尾脇璃音 / 女子800mフリーリレー優勝・山本美杏、林希菜、渡会円香、國友美緒 / 女子400mメドレーリレー準優勝・渡会円香、國友美緒、林希菜、山本美杏



スポーツアトム編集部

スポーツアトム編集部(体育会情宣機関)では各部活を局員が担当し、日々体育会の活動取材し、紙面やHPにて発信しています。「カレンダースポーツを広めたい」という想いから、全ての作業に全力を注ぎ、これからも活動していきます。詳しくはHPをご覧ください。

<http://doshisha-atom.net/>



「コロナ禍における スポーツを巡る動向」 講演会開催報告

スポーツマネジメント研究センター
遠藤 華英 (スポーツ健康科学部 助教)

日時：2020年12/8、12/15、12/22、2021年1/12、1/19
場所：Zoomを利用したオンライン開催

同志社大学では文理融合や領域横断による創造的研究活動を推進し、学術研究の進展及び新しい研究分野の開拓に資することなどを目的として、さまざまな研究センターを設置しています。そのひとつ、スポーツマネジメント研究センターは、本学の教員が研究員として、スポーツマネジメントの観点から産官学の結びつきにおける相互関係の強化につとめ、スポーツビジネスの知識体系の共有と新たなビジネスモデルのあり方を検討することを目的としています。

ピック・パラリンピックの開催延期、Jリーグやプロ野球といったプロスポーツ興行の停滞、地域におけるスポーツ活動の制限など、あらゆる側面で浮上した課題への対応が求められ、人々の暮らしや社会におけるスポーツの価値が問われる事態となった。

本講演会では、コロナ禍以前からのスポーツ界の状況を踏まえながら、スポーツ観戦ビジネス、ファシリテイティブマネジメント、障害者スポーツ、スポーツを通じた国際協力、そして文化としてのスポーツという視点を設け、コロナ禍を通じて生じた変化や最新の動向、withコロナ・afterコロナ社会に向けた展望について議論した。

スポーツ観戦ビジネスをテーマとした講演では、トランスインサイド株式会社代表である鈴木友也氏にご講演いただいた。アメリカのスポーツビジネスの知見を踏まえたスポーツ産業の発展を中心に、新型コロナウイルス蔓延によるスポーツ観戦ビジネスの危機的な状況をアメリカのスポーツ業界がどのように捉え、また乗り越えようとしてきた変化や最新の動向、withコロナ・afterコロナ社会に向けた展望について議論した。

ファシリテイティブマネジメントという視点では、スイミングスクールやフィットネスクラブを運営し、近年ではサンガスタジアム by KYOCERAなどの指定管理事業や、梅小路公園のアイスクリームパークの建設、管理運営など、行政と連携したパブリックビジネスも手掛けている株式会社ビバの小林敏史氏にご講演いただいた。スポーツ観戦ビジネス同様、「観る」スポーツに加え、「する」スポーツの施設運営はコロナ禍においていくつもの困難が生じている。本講演では、スポーツクラブとパブリックビジネスの現場の現状や新たなビジネスチャンスにつなげる取組みについて議論を進めた。

障害者スポーツに関しては、株式会社WOWOWで「W H O I A M」のチーフプロデューサーを務める太田慎也氏にご講演いただいた。WOWOWはIPC(国際パラリンピック委員会)と連携して、2016年からパラリンピアンとのドキュメンタリーを放送している。放送開始からチーフプロデューサーとして携わる太田氏に、メディアとしてパラリンピック・パラリンピアンをどのように伝えてきたのか、コロナ禍で東京パラリンピックが近づいてくる中でどのようなメディア戦略を立てているのかご講演いただいた。

以上の5回の講演会は、すべてオンライン形式で行い、多くの学生が聴講した。各回とも学生から積極的な発言があつたことで、講演後半では講演者との活発な議論が行われた。講演者・聴講者ともに参加に際する物理的なアクセスに制限がなかった今回の講演会では、対面形式とは異なる利点があることも実感でき、今後のスポーツマネジメント研究センターの活動にとっても有益な学びとなった。

以上計5回の講演会は、すべてオンライン形式で行い、多くの学生が聴講した。各回とも学生から積極的な発言があつたことで、講演後半では講演者との活発な議論が行われた。講演者・聴講者ともに参加に際する物理的なアクセスに制限がなかった今回の講演会では、対面形式とは異なる利点があることも実感でき、今後のスポーツマネジメント研究センターの活動にとっても有益な学びとなった。

新しく着任された先生から自己紹介 築瀬康先生・西牧未央先生



はじめまして。この4月より助教授に就任しました。築瀬康(やなせこう)です。専門はリハビリテーションで、着任前まで理学療法士として怪我や病気で苦しむ患者さんに治療を行ってまいりました。本学部では「マッサージ・テーピング論」や「コンディショニング論」などの授業を担当しています。

私は幼い頃からスポーツが好きで、運動に関わる理学療法士になるために、大学へ進学しました。免許取得後は理学療法士として医療現場で勤務しながら、大学院へ進学し、筋力トレーニングやストレッチングに関する研究を行いました。また、高校の運動部の外部コーチとして、トレーニングやコンディショニングの指導も行ってまいりました。

現在、本学部では人柄の良い教職員に囲まれ、この上ない環境で勤務しています。また、高いレベルでスポーツに取り組む学生と共に生活を送る事ができ、幸せです。学生に多くのGIVEを与える事ができるように模索しながら活動していきます。具体的には、研究と教育を材料にし、学生とコミュニケーションを取りながら、怪我からの早期復帰や再発予防に向けた解決策を提案したいと思っています。



本年度4月よりスポーツ健康科学部助手(有期)として着任しました西牧未央です。

4歳から20年間レスリング競技を続けた後、博士後期課程進学を決意し、博士学位を取得しました。国立スポーツ科学センター、三重大学産婦人科講座・博士研究員を経て、今に至ります。

専門分野はスポーツ健康科学です。スポーツ健康科学とは、体組成測定、体力測定、血液検査や尿検査など一般的に知られている検査を用いて、内科的な側面から運動やスポーツが身体に与える影響について知識と実践の両面から幅広く学びます。

では、私の研究テーマについてお話します。レスリング、柔道、ボクシングといった体重階級別競技のアスリートが試合前に減量を行うことが知られていますが、私も現役アスリートのときに幾度か減量を繰り返しました。この経験が現在の研究テーマに繋がっており、「女性アスリートの繰り返し減量減量が長期的に身体にどう影響するのか」を明らかにしようとしています。自身の研究スタイルは、スポーツ現場の課題を抽出し、研究によって科学的な評価をし、その成果をまた現場に還元するというサイクルを繰り返して、最終的にはアスリートの生涯を通じた健康の追求につなげていくことです。同志社大学スポーツ健康科学部では、学びを実践に生かすためにどうしたらよいかを学生のみならず一緒に考え、スポーツや健康を通じて自分を磨きつかけを提供できるよう努めていきたいと思っています。質問や相談があれば、email(mishima@mail.doshisha.ac.jp)ご連絡ください。3年間どうぞよろしくお願致します。

2021年度「同志社大学スポーツ健康科学部 教員父母連絡会 新型コロナウイルス感染症に係る奨学金」について

2020年より、新型コロナウイルス感染症の影響により学業継続のために支援が必要な学生に対して、教員父母連絡会独自の奨学金制度を設立し、運用を開始いたしました。2021年度は「同志社大学スポーツ健康科学部 教員父母連絡会 新型コロナウイルス感染症に係る奨学金」と名称変更し、2021年9月から10月31日にかけて募集を行いました。

なお、学部ホームページ、DUET等で周知してました募集要項は以下の通りです。

- ①給付額と人数
給付額：1名につき1万円(在学中に1回限り)
給付人数：100名程度。ただし、申請者が多い場合には、教員父母連絡会の当該年度予算の範囲内で給付人数が増える可能性があります。
- ②対象学生 スポーツ健康科学部の在学学生。ただし、申請時点で休学中の者は除きます。また、既に本奨学金の給付を受けた者は申請できません。
- ③候補者選考 2021年度の以下のいずれかの奨学金に申請し、採用された者となります。他の奨学金との併給も可能です。
(1)独立行政法人日本学生支援機構奨学金(給付・貸与のいずれでも可)
*2020年度以前に採用され2021年度の継続が認められた者も含まれます。
*2020年度中に予約採用に申請した者も含まれます。
(2)同志社大学奨学金、同志社大学貸与奨学金、同志社大学修学特別支援奨学金
(3)その他、家計状況を審査する学内の奨学金
- ④申請期間 2021年10月31日(日)まで(2021年度に上記③に記載のいずれかの奨学金に申請していれば、本奨学金にも申請できます)。ただし、2021年10月31日以降であっても家計急変等により上記③に記載の奨学金に申請した場合には、追加で本奨学金の申請を認めます。
- ⑤採用者への奨学金振込時期 2021年11月下旬以降

最後になりますが、私は本学部の教員の中で最年少ということもあり、学生や教職員から「学生」と間違われる事が多いです。顔を覚えてもらうまでは、話始めに「スポーツ健康科学部、教員の築瀬です」と言うようにしています。昨今はコロナウイルスの影響により、様々な場面でディスタンスを取らなければならぬですが、学生と年齢が近いメリットを活かし、学生との心の距離は近づけたいと思います。

教員父母連絡会寄贈図書

磐上館のラーニング・テリア(自習室)に常置します。

書籍名
パワーズ運動生理学 一体力と競技力向上のための理論と応用
フィットネスチェックハンドブック 一体力測定に基づいたアスリートへの科学的支援
スポーツマーケティング 改訂版 (スポーツビジネス叢書)
スポーツマネジメント 改訂版 (スポーツビジネス叢書)
プロスポーツクラブのマネジメント 一戦略の策定から実行まで(第3版)
年間購読【月刊誌】教職課程
年間購読【月刊誌】教員養成セミナー

ご意見ご感想は電話またはe-mailでお寄せください

同志社大学スポーツ健康科学部
教員父母連絡会事務局(スポーツ健康科学部事務室内)
Tel.0774-65-6030 e-mailはこちらから▶



スポーツ健康科学部ホームページ
▶教員父母連絡会のページから
随時最新情報を発信しております

DO FIELD 19

Doshisha
University

DO-FIELD [ドゥ・フィールド] 同志社大学スポーツ健康科学部教員父母連絡会報 第19号 2021年11月発行
[編集・発行] 同志社大学スポーツ健康科学部教員父母連絡会 〒610-0394 京田辺市多々羅都谷1-3 同志社大学スポーツ健康科学部事務室内
[デザイン] 郷原広行 (株式会社デザイン) [制作・印刷] 株式会社デザイン Tel.0774-65-6030 Fax.0774-65-6029 e-mail:jt-spojim@mail.doshisha.ac.jp